

令和5年度岐阜県体力向上プロジェクト実践報告書

学校名：岐阜市立島小学校／氏名：山田 雄一郎

1 実践事例 5年生30名 男子15名 女子15名

(1) クラス観

・運動に対して前向きで活動を楽しむ姿がある。・仲間のことを気にかける姿がある。・進んで道具の準備をする姿ある。・異性と関わることに苦手意識がある。・活動を切り替えることが苦手な子が多い。・指示されないと動けない子が多い。

(2) 取り扱った運動遊び例

・修行おに・ことろことろ・言うこと一緒やること一緒
 ・しっぽとりおに・進化じゃんけん・あっちとんでぴよん
 ・しまおに ・ふやしおに ・ボールおに

(3) 学習の流れ【実践例】（領域： ゲーム 種目： タグラグビー ）

【導入1】

ACPを活用したアップ

【導入2】

本時の目標・内容の確認

【展開】

ゲーム

【まとめ】

学び方の振り返り・次時の課題化

【実践の様子】

場面：導入1

・タグを取ることに夢中になるのではなく、取られないように周囲の状況を見ることに重点を置いて取り組んだ。
 ・男女での関わりが少しでも増えるように、教師と一緒に取り組み、児童をつなぐよう努力した。
 ・「もう一度やりたい」と意欲的に取り組む児童が見られた。

【実践の様子写真等①】

児童の変化

・第1時

男女間でタグの取り合いはないものの、タグを取ることに意欲的に動く児童が多かった。

タグを取られると、やめてしまう児童、コート隅にいて動かない児童がおり、それにつられて活動しない児童がいた。

【実践の様子写真等②】

児童の変化

・第2時

「男女バラバラ」を解消するため、教師が児童の中に入り、追う追われるの関係を動きながら調整した。そうすることで、近くにいる異性のタグを追う姿が出始めた。

タグを○本以上とるよ、と課題を設定することで、タグを取られても、追うことを継続するようになった。

【実践の様子写真等③】

児童の変化

・第3時

ゲームを意識して、相手をかかわしたり、周りを見て動いたりするポイントを話すと、若干ではあるが、意識的に動くようになった。

令和5年度岐阜県体力向上プロジェクト実践報告書

学校名：岐阜市立島小学校／氏名：山田 雄一郎

2 児童生徒の感想等

- ・ ACPを楽しんでやる事ができた。 ・ 遊びは楽しいのでずっとやっていたい。
- ・ ACPでドッチボールをやってほしい。
- ・ おにごっこは好きなのでもうちょっと時間を使ってほしいと思った。
- ・ ずっと試合をやりたいので最初の遊びはいい。
- ・ 持久走のときは疲れるので遊びはやめてほしい。

3 成果と課題

【成果】

遊びとして運動を取り入れると楽しんで活動する子供が増えると感じる。男女に隔りがあることについても、少しだが解消できたのではないかと思う。

活動後に息が上がっている様子を見ると、運動量の確保もできたのではないかと思う。

【課題】

- ・ 運動遊びと取り入れたあとの本運動に移行するまでに相当の時間を要し、児童の実態に応じた取り入れ方を考えなければ体育として成り立たない。
- ・ 内容が変わると説明に時間がかかるので、遊びをマイナーチェンジしていくことでそれを解消できればと思う。
- ・ 子供の感覚を大切に、ACPと本運動との意識の差をなくせるような工夫を考えていきたい。

4 その他

【縦割り活動への広がり】

- ・ 本学級ではないが、6年生がACPのガイドブックを活用し、縦割り遊び活動の内容を考えて実践していた。